



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 3 日

上場会社名 フィールズ株式会社

上場取引所 JASDAQ

コード番号 2767

URL <http://www.fields.biz>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 高志

問合せ先責任者(役職名) 取締役計画管理本部長 (氏名) 山中 裕之

TEL (03) 5784-2111 (代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	24,234 (△4.4)	2,322 (△26.9)	2,627 (△23.0)	1,156 (△30.3)
19年3月期第1四半期	25,362 (3.9)	3,176 (40.7)	3,413 (28.0)	1,658 (13.2)
19年3月期	85,321	8,944	9,202	3,710

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	3,333 14	— —
19年3月期第1四半期	4,778 88	— —
19年3月期	10,692 29	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	83,971	43,316	49.5	119,850 22
19年3月期第1四半期	63,661	41,873	63.3	120,674 06
19年3月期	66,081	42,836	62.2	118,487 37

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	5,411	△2,145	△487	20,674
19年3月期第1四半期	△722	△338	△257	14,451
19年3月期	5,293	△4,772	1,488	17,819

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	53,000 (12.5)	4,300 (△8.9)	4,200 (△15.7)	1,000 (△55.1)	2,881 84
通期	98,000 (14.9)	9,600 (7.3)	9,300 (1.1)	3,800 (2.4)	10,951 01

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無
 (注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成20年3月期第1四半期の個別業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	21,094 (△7.3)	2,531 (△22.8)	2,614 (△26.1)	1,397 (△28.3)
19年3月期第1四半期	22,756 (△2.3)	3,279 (34.0)	3,535 (31.1)	1,948 (27.9)
19年3月期	71,314	8,999	9,393	4,773

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	4,028 49	— —
19年3月期第1四半期	5,616 17	— —
19年3月期	13,755 49	— —

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	74,021	42,705	57.7	123,070 74
19年3月期第1四半期	57,842	40,390	69.8	116,398 34
19年3月期	57,509	42,001	73.0	121,042 25

2. 平成20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	46,000 (11.8)	4,700 (△5.6)	4,800 (△9.2)	800 (△71.5)	2,305 48
通期	75,000 (5.2)	8,400 (△6.7)	8,500 (△9.5)	2,800 (△41.3)	8,069 16

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、7ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期より、事業の種類別セグメント情報の四半期開示を行っております。そのため、各セグメント（以下、フィールドと呼ぶ。）における前連結会計年度との四半期別実績対比はありません。

<当第 1 四半期の概況>

連結売上高は、24,234,564 千円（前年同期比 4.4%減少）となりました。

PS（パチンコ・パチスロ）・フィールドは、おおむね計画通りに進捗し、21,066,502 千円となりました。フィールズ株式会社（以下「当社」という。）のパチンコ・パチスロ遊技機販売事業に関しましても、パチンコ・パチスロのいずれも当社計画通りに推移いたしました。

当社では、パチンコホールでの 6 月及び 7 月における新規対応パチスロ遊技機の大規模な入替需要に応えるべくパチスロ遊技機販売に重点を置きました。その結果、パチスロ遊技機の販売台数は前年同期と同水準（同 2.2%減少）で推移し、パチンコ遊技機は下期重点戦略としたため 1 機種のための投入となり、前年同期比で販売台数が減少（同 57.6%減少）しておりますが、ほぼ計画通りの推移となっております。

ゲーム・フィールドは、2,195,976 千円となりました。株式会社ディースリーのゲームソフトウェア販売が北米市場で順調に推移したこと、欧州市場での販売が本格化したことによるものです。

その他フィールドは、972,085 千円となりました。株式会社フューチャースコープのモバイルサイトのサービス提供が本格化したことによるものです。

一方、収益面におきましては、以下の通りであります。

営業利益は、2,322,818 千円（同 26.9%減少）となりました。

PS・フィールドは、2,540,074 千円となりました。当社のパチンコ遊技機販売事業における販売台数は前年同期と比して減少しておりますが、販売促進費等の削減効果により順調に推移したことによるものです。

ゲーム・フィールドは、12,997 千円となりました。株式会社ディースリーの国内市場におけるゲームソフトウェア販売が順調に推移したことによるものです。

その他フィールドは、△228,640 千円となりました。ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社の業績が低調であったことによるものです。

経常利益は、2,627,373 千円（同 23.0%減少）となりました。

営業外収益は、352,883 千円となりました。持分法適用関連会社である株式会社ロデオの持分法による投資利益が増加したことによるものです。

以上の結果、当第 1 四半期における**四半期（当期）純利益**は、1,156,602 千円（同 30.3%減少）となりました。

<当第 1 四半期の種類別セグメント分析>

(1) PS・フィールド

パチンコホールの経営環境は、大きな変化の潮目を迎えております。

パチスロ遊技機においては、行き過ぎた射幸性の抑制を目的に導入され始めた新規則対応パチスロ遊技機（いわゆる 5 号機）へのシフトが本格化しております。昨夏から昨秋にかけての人気機種は撤去で稼動を低下させてきたパチスロですが、今秋までには新規則対応機のみのパチスロ市場となり、市場設置台数の適正化も進むことから、稼動低下に歯止めがかかるものと期待されております。こうした中で 5 号機市場においてもパチンコホールの商品選別の目は厳しさを増しており、売れる 5 号機・売れない 5 号機の二極分化が始まっております。今後は、射幸性に依存するのではなくクォリティに優れ圧倒的なエンタテインメント性を備えたパチスロ遊技機の開発がメーカー各社に待ち望まれております。

一方、パチンコホールの収益の大きな柱であったパチスロの稼動低下で、ホールサイドの商品選別の目はパチンコに対しても厳しさを増し、エンタテインメント性に優れ、集客力の高い機種が爆発的なヒットとなる反面、商品力の乏しい機種は極度の販売不振に終わる現象が顕在化しております。このような厳しい状況を受けて、大手メーカーを中心に新たな動きが見られるようになりました。具体的には、開発機種数の削減により、その分、十分な開発費と開発期間をかけた商品力に富んだ機種を生み出していこうとする新たなムーブメントが巻き起こっております。また他方では、低価格機種の開発も同時に進められ、入替コストをトータルで抑制し、バランスのとれたパチンコホール経営に貢献していこうとする方向性が見えてきました。

パチンコ業界は、短期的には厳しい環境が避けられませんが、集客力と収益力の双方に優れた遊技機の登場、全体としてコストバランスに秀でたラインナップの登場などパチンコ遊技機の進化を中心に、全体的には健全な回復基調を獲得していくものと考えられます。

このような環境下、PS・フィールドにおける各事業の結果につきましては以下の通りであります。

(パチンコ遊技機販売事業)

パチンコ遊技機の市場環境におきましては、5 号機への入替えによって、パチンコホールの短期的な資金がパチスロ遊技機の購入にシフトすることを予測し、当第 1 四半期は株式会社ビスティ製「CR ルーニー・チューンズ BIA」の 1 機種、第 2 四半期は既に発表済みで、予想を上回る受注をいただいているサミー株式会社製「CR サクラ大戦」の 1 機種のみ投入にとどめております。

当社といたしましては、この間に今後発売を予定しているすべての商品を見直し、質的向上を進めております。これらの商品につきましては、下半期に 5 機種以上を市場に投入していく予定でございます。

以上の結果、当第 1 四半期におけるパチンコ遊技機の販売台数は、前第 1 四半期 65,637 台の販売実績に対し、1 機種投入の 27,774 台の販売実績となり前年同期比約 57.6%減少となりました。なお、当第 1 四半期の計上台数には、前連結会計年度からの継続販売である「CR 新世紀エヴァンゲリオン～奇跡の価値は～」の一部が計上されております。

(パチスロ遊技機販売事業)

パチスロ遊技機市場におきましては、旧規則対応機の設置期限に伴う過去最大規模の入替えが、平成 19 年 6 月、7 月、及び 9 月に集中することに伴い、パチンコホールのニーズに応えるべく、6 月 2 機種、7 月 2 機種、9 月 2～3 機種の積極投入を計画しておりました。

6 月の需要においては「モーニング娘。」、株式会社カプコンの全面的な協力によって実現した「デビルメイクライ 3」を発売、特に「デビルメイクライ 3」は圧倒的な映像美による演出表現と新たなゲーム性が支持され、累計約 4.9 万台販売（限定販売、当第 1 四半期約 4.1 万台計上）のヒット商品となりました。

以上の結果、当第 1 四半期におけるパチスロ遊技機の販売台数は、前第 1 四半期 58,637 台の販売実績に対し、2 機種投入の 57,375 台の販売実績となり前年同期比約 2.2%減少となりました。なお、当第 1 四半期の計上台数には、前連結会計年度からの継続販売である新規則対応パチスロ遊技機の一部が計上されております。

第 2 四半期におきましては、既に発売済みでパチンコホール及びファンから高い支持をいただき、順調に受注を伸ばしている株式会社ビスティ製「新世紀エヴァンゲリオン～まごころを、君に～」など 2 機種を市場投入いたしております。なお、本遊技機の売上高への計上は、出荷となる第 2 四半期となり、当第 1 四半期には含まれておりません。

また、9 月には当社販売商品である「俺の空」など大型の旧規則対応機の入替が予定されており、当社では大型商品を中心に 2～3 機種を投入していく予定であります。

(当セグメントの業績推移)

(単位：千円)

	平成 18 年 3 月期	平成 18 年 9 月期中	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期 第 1 四半期
売上高	88,168,782	40,966,146	71,064,425	21,066,502
営業利益 (△損失)	12,711,000	5,026,461	9,073,848	2,540,074

(2) ゲーム・フィールド

株式会社ディースリーにおきましては、ニンテンドーDS 向け「SIMPLE シリーズ」を中心に展開するとともに、当社とのシナジービジネスであるパチンコ・パチスロ遊技機のシミュレーターソフト最新作「必勝パチンコ★パチスロシリーズ Vol.10 CR エヴァンゲリオン～奇跡の価値は～」が 16 万本超を出荷するなど、国内市場における低価格及びフルプライスゲームソフトがともに堅調に推移いたしました。また、海外市場におきまして、低価格ゲームソフト 1 タイトル、フルプライスゲームソフト 3 タイトルを北米で発売、欧州においては北米及び日本から供給されたタイトルの販売に注力いたしました。

モバイル向けリッチゲームコンテンツの配信スケジュールの見直しを行いました。同コンテンツを用いた低価格ゲームコンテンツ及び女性向けコンテンツサイトの有料会員数が計 96 万人を超え、安定した収益源となっております。

株式会社シンクアーツにおきましては、当社グループ各社である株式会社ディースリーやフィールズピクチャーズ株式会社との連携を深め、当社グループにて取得したゲーム化権を用いたゲームソフトウェア開発等を積極的に行っております。

(当セグメントの業績推移)

(単位：千円)

	平成 18 年 3 月期	平成 18 年 9 月期中	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期 第 1 四半期
売上高	5,042,102	3,878,951	9,847,658	2,195,976
営業利益(△損失)	277,681	△ 81,446	220,149	12,997

(3) その他・フィールド

株式会社フューチャースコープにおきましては、エンタテインメント情報の総合コンテンツを提供するモバイルサイト「フィールズモバイル」を平成 19 年 2 月に NTT ドコモの公式サイトとしてサービス提供を開始後、5 月に SoftBank モバイル、7 月に au でサービス提供を開始するなど事業を拡大いたしました。平成 19 年 6 月末時点で既に有料会員数が 10 万人を超え順調に推移しております。

フィールズピクチャーズ株式会社におきましては、当社グループ全体の 1 次コンテンツ創出を牽引するために、映画、アニメーション及びコンテンツファンドなどへの投資を引き続き行っております。

ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社におきましては、同社の事業計画に対し若干の未達が生じておりますが、ライセンス、アスリートマネジメント、ソリューション事業の各事業について引き続き見直しを行い、再構築を図っております。

(当セグメントの業績推移)

(単位：千円)

	平成 18 年 3 月期	平成 18 年 9 月期中	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期 第 1 四半期
売上高	3,603,479	2,277,085	4,409,061	972,085
営業利益(△損失)	△ 655,529	△ 286,925	△ 513,444	△ 228,640

2. 連結財政状態に関する定性的情報

<貸借対照表分析>

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、83,971,520千円（前連結会計年度比 27.1%増加）となりました。

流動資産は、62,450,324千円（同 35.3%増加）となりました。

売上高の増加により現金及び預金、受取手形及び売掛金が4,520,315千円増加いたしました。また、たな卸資産が10,623,100千円増加しているのは、主にP S・フィールドの新規則対応パチスロ遊技機「新世紀エヴァンゲリオン～まごころを、君に～」を短期間で大規模な入替需要に対応するため、7月納品確定分をメーカーが早期生産し、一部を在庫計上しているためであります。

有形固定資産は、6,539,336千円（同 13.6%増加）となりました。

有形固定資産は、主にP S・フィールドの支店の移転等により建設仮勘定が増加したものであります。

無形固定資産は、4,658,520千円（同 15.4%増加）となりました。

無形固定資産は、主にゲーム・フィールドののれんが増加したことによるものであります。

投資その他の資産は、10,323,338千円（同 1.8%増加）となりました。

投資その他の資産は、主にP S・フィールドの投資有価証券が114,440千円減少いたしました。出資金、破産更生債権等が増加したことによるものであります。

負債の部は、40,655,257千円（同 74.9%増加）となりました。

流動負債は、36,329,374千円（同 92.6%増加）となりました。

流動負債は、流動資産に記載したように、P S・フィールドの新規則対応パチスロ遊技機「新世紀エヴァンゲリオン～まごころを、君に～」を一部在庫計上したことにより買掛金が増加いたしました。その他に短期借入金の増加、未払法人税等の減少等によるものであります。

固定負債は、4,325,883千円（同 1.2%減少）となりました。

固定負債は、長期預り保証金及び長期借入金の減少、退職給付引当金の増加等によるものであります。

純資産の部は、43,316,262千円（同 1.1%増加）となりました。

利益剰余金の増加、為替換算調整勘定等の増加によるものであります。

<キャッシュ・フロー分析>

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが5,411,415千円プラスとなりましたが、財務活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローがそれぞれ2,145,358千円、487,109千円マイナスとなりました。その結果、現金及び現金同等物（以下「資金」という）の第1四半期の残高は20,674,252千円となり、前連結会計年度に比べ2,854,323千円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、5,411,415千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が2,572,144千円となったことや、売上債権の増加926,615千円、たな卸資産の増加10,595,374千円、仕入債務の増加16,865,501千円、法人税等の支払1,942,554千円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動における資金の減少は2,145,358千円となりました。有形固定資産取得による支出1,826,798千円、無形固定資産取得による支出238,227千円、投資有価証券の売却による収入400,000千円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は487,109千円となりました。短期借入金の増加424,000千円、長期借入金の返済による支出223,968千円、配当金の支払583,977千円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 3 月期の業績予想につきましては、当第 1 四半期まではおおむね計画通り推移いたしております。従いまして現時点では平成 19 年 5 月 14 日付「平成 19 年 3 月期決算短信」に発表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
税金費用の計算方法につきましては、一部簡便的な方法を採用しております。
- (3) 連結財務諸表作成に係る会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

[添付資料]

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別		前第1四半期		当第1四半期		(参考)	
			(平成18年6月30日現在)		(平成19年6月30日現在)		平成19年3月期	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資 産 の 部)				%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金		14,451,646			20,859,706		17,902,518	
2. 受取手形及び売掛金		23,497,489			20,086,421		18,523,292	
3. 有価証券		199,915			—		—	
4. たな卸資産		2,171,879			13,595,641		2,972,540	
5. 商品化権前渡金		3,224,237			—		—	
6. その他		2,782,496			7,966,343		6,803,929	
7. 貸倒引当金		△ 149,225			△ 57,787		△ 57,592	
流動資産合計		46,178,439	72.5		62,450,324	74.4	46,144,689	69.8
II 固定資産								
1. 有形固定資産		4,673,247	7.4		6,539,336	7.8	5,756,417	8.7
2. 無形固定資産		2,738,582	4.3		—	—	—	—
(1) のれん		—			1,799,152		1,405,855	
(2) その他		—			2,859,367		2,630,323	
無形固定資産合計		—	—		4,658,520	5.5	4,036,178	6.1
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券		7,005,629			6,102,527		6,216,967	
(2) その他		3,219,449			4,477,013		4,199,585	
(3) 貸倒引当金		△ 153,555			△ 256,203		△ 272,280	
投資その他の資産合計		10,071,523	15.8		10,323,338	12.3	10,144,272	15.4
固定資産合計		17,483,352	27.5		21,521,195	25.6	19,936,868	30.2
資産合計		63,661,791	100.0		83,971,520	100.0	66,081,557	100.0

(単位：千円)

科 目	期 別		前第1四半期		当第1四半期		(参考)	
			(平成18年6月30日現在)		(平成19年6月30日現在)		平成19年3月期	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負 債 の 部)				%		%		%
I 流動負債								
1. 買掛金		11,324,585			27,061,147		9,094,526	
2. 短期借入金		1,130,000			2,611,499		2,230,000	
3. 1年内返済予定長期借入金		204,668			931,606		917,750	
4. 1年内償還予定社債		110,000			120,000		120,000	
5. 賞与引当金		54,331			36,800		25,000	
6. 役員賞与引当金		—			98,000		98,000	
7. その他		5,459,547			5,470,320		6,379,893	
流動負債合計		18,283,132	28.7		36,329,374	43.3	18,865,169	28.6
II 固定負債								
1. 社債		490,000			370,000		370,000	
2. 長期借入金		333,330			1,043,528		1,238,852	
3. 退職給付引当金		169,445			206,972		195,112	
4. その他		2,511,983			2,705,383		2,575,731	
固定負債合計		3,504,759	5.5		4,325,883	5.1	4,379,696	6.6
負債合計		21,787,891	34.2		40,655,257	48.4	23,244,865	35.2
(純 資 産 の 部)								
I 株主資本								
1. 資本金		7,948,036	12.5		7,948,036		7,948,036	
2. 資本剰余金		7,994,953	12.6		7,994,953		7,994,953	
3. 利益剰余金		23,577,354	37.0		25,406,309		24,943,694	
株主資本合計		39,520,344	62.1		41,349,299	49.2	40,886,683	61.9
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金		733,725			214,822		214,822	
2. 為替換算調整勘定		7,547			23,907		13,609	
評価・換算差額等合計		741,273	1.2		238,729	0.3	228,431	0.3
III 新株予約権		—			20,472	0.0	15,907	0.0
IV 少数株主持分		1,612,283	2.5		1,707,761	2.1	1,705,668	2.6
純資産合計		41,873,900	65.8		43,316,262	51.6	42,836,691	64.8
負債及び純資産合計		63,661,791	100.0		83,971,520	100.0	66,081,557	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前第1四半期		当第1四半期		(参考) 平成19年3月期	
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
		金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
I	売上高	25,362,998	100.0	24,234,564	100.0	85,321,144	100.0
II	売上原価	17,792,660	70.2	17,470,847	72.1	56,072,618	65.7
	売上総利益	7,570,338	29.8	6,763,717	27.9	29,248,525	34.3
III	販売費及び一般管理費	4,393,466	17.3	4,440,899	18.3	20,303,549	23.8
	営業利益	3,176,872	12.5	2,322,818	9.6	8,944,975	10.5
IV	営業外収益	268,069	1.1	352,883	1.4	439,008	0.5
V	営業外費用	31,441	0.1	48,328	0.2	181,446	0.2
	経常利益	3,413,500	13.5	2,627,373	10.8	9,202,537	10.8
VI	特別利益	905	0.0	3,617	0.0	110,527	0.1
VII	特別損失	13,749	0.1	58,845	0.2	1,086,070	1.3
	税金等調整前四半期(当期)純利益	3,400,656	13.4	2,572,144	10.6	8,226,994	9.6
	法人税、住民税及び事業税	1,742,854	6.9	1,415,542	5.8	4,433,381	5.2
	少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 469	0.0	—	—	83,388	0.1
	四半期(当期)純利益	1,658,271	6.5	1,156,602	4.8	3,710,224	4.3

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	(参考) 平成19年3月期
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		3,400,656	2,572,144	8,226,994
2. 減価償却費		196,667	176,512	817,867
3. 連結調整勘定償却		96,495	—	—
4. のれん償却額		—	106,922	429,602
5. 貸倒引当金の増加・減少(△)額	△	894	△ 15,881	26,186
6. 賞与引当金の増加・減少(△)額		29,331	11,800	—
7. 退職給付引当金の増加・減少(△)額		6,797	11,859	32,464
8. 役員退職慰労引当金の増加・減少(△)額	△	607,100	—	△ 607,100
9. 受取利息及び受取配当金	△	25,930	△ 35,754	△ 86,777
10. 仕入割引	△	201,904	△ 21,938	△ 215,522
11. 持分法による投資利益	△	59,065	△ 170,801	92,953
12. 支払利息		6,541	20,420	58,538
13. 固定資産除却損		1,580	57,057	743,948
14. 売上債権の減少・増加(△)額		23,375,678	△ 926,615	28,719,949
15. たな卸資産の減少・増加(△)額	△	665,773	△10,595,374	△ 1,341,601
16. 商品化権前渡金の減少・増加(△)額		292,245	△ 245,811	944,467
17. 前払費用の減少・増加(△)額		318,691	△ 5,780	331,993
18. 立替金の減少・増加(△)額		120,996	73,509	52,457
19. 保管手形の減少・増加(△)額		14,187	114,186	△ 37,764
20. 営業外受取手形の減少・増加(△)額		410,247	289,224	△ 175,764
21. 営業保証金の減少・増加(△)額		20,000	△ 100,000	20,000
22. 仕入債務の増加・減少(△)額	△	23,312,910	16,865,501	△26,297,458
23. 未払消費税等の増加・減少(△)額	△	81,110	△ 190,418	△ 152,127
24. 預り金の増加・減少(△)額		317,853	△ 739,129	530,005
25. 預り保証金の増加・減少(△)額		130,997	△ 65,788	190,937
26. 役員賞与の支払額	△	105,000	—	△ 105,000
27. その他	△	739,357	131,643	△ 87,962
小計		2,939,920	7,317,488	12,111,288
28. 利息及び配当金の受取額		71,672	55,834	132,979
29. 利息の支払額	△	6,612	△ 19,353	△ 63,241
30. 法人税等の支払額	△	3,727,047	△ 1,942,554	△ 6,887,285
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 722,066	5,411,415	5,293,740

(単位：千円)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	(参考)
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	平成19年3月期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		金額	金額	金額
II	投資活動によるキャッシュ・フロー			
1.	有価証券の取得による支出	△ 199,915	—	—
2.	有形固定資産の取得による支出	△ 82,073	△ 1,826,798	△ 1,113,515
3.	無形固定資産の取得による支出	△ 30,921	△ 238,227	△ 2,425,998
4.	投資有価証券の取得による支出	△ 487,541	△ 136,899	△ 1,050,850
5.	投資有価証券の売却による収入	500,000	400,000	758,657
6.	関係会社株式の取得による支出	△ 15,000	—	△ 16,000
7.	貸付による支出	△ 143,398	△ 25,000	△ 23,998
8.	貸付金の回収による収入	15,841	4,053	40,421
9.	敷金保証金の差入による支出	△ 8,384	△ 4,697	△ 363,421
10.	敷金保証金の解約による収入	13,533	77,604	136,506
11.	長期前払費用の支出	—	△ 2,942	△ 8,934
12.	その他	99,639	△ 392,450	△ 705,580
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 338,218	△ 2,145,358	△ 4,772,711
III	財務活動によるキャッシュ・フロー			
1.	短期借入金の増加・減少(△)額	400,000	424,000	1,477,164
2.	長期借入金の返済による支出	△ 43,667	△ 223,968	△ 418,091
3.	配当金の支払額	△ 613,554	△ 583,077	△ 1,389,956
4.	その他	—	△ 104,063	1,819,554
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 257,221	△ 487,109	1,488,670
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8,160	75,376	32,727
V	現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 1,325,667	2,854,323	2,042,426
VI	現金及び現金同等物の期首残高	15,777,313	17,819,928	15,777,313
VII	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	188
VIII	現金及び現金同等物の第1四半期(期末)残高	14,451,646	20,674,252	17,819,928

(4)セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)

(単位:千円)

	P S・ フィールド	ゲーム・ フィールド	その他 フィールド	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	21,066,502	2,195,976	972,085	24,234,564	—	24,234,564
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	27,413	27,150	17,477	72,041	(72,041)	—
計	21,093,915	2,223,126	989,563	24,306,606	(72,041)	24,234,564
営業費用	18,553,841	2,210,129	1,218,204	21,982,175	(70,428)	21,911,746
営業利益又は営業損失(△)	2,540,074	12,997	△228,640	2,324,431	(1,612)	2,322,818

(注) 1. 事業の区分は商品、サービス等の類似性を考慮してP S・フィールド、ゲーム・フィールド、その他フィールドの区分になっております。

2. 各区分の主な内容

- (1) P S・フィールド・・・遊技機の仕入販売、企画、開発かつこれに付帯する関連業務等
- (2) ゲーム・フィールド・・・ゲームソフト等パッケージソフトの企画開発、販売等
- (3) その他フィールド・・・スポーツマネジメント他

3. 全ての営業費用は、各セグメントに配分されているため、配賦不能営業費用はありません。

前期 (平成19年3月期)

(単位:千円)

	P S・ フィールド	ゲーム・ フィールド	その他 フィールド	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	71,064,425	9,847,658	4,409,061	85,321,144	—	85,321,144
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	242,429	99,175	1,112,150	1,453,756	(1,453,756)	—
計	71,306,854	9,946,833	5,521,211	86,774,900	(1,453,756)	85,321,144
営業費用	62,233,005	9,726,684	6,034,656	77,994,347	(1,618,178)	76,376,168
営業利益又は営業損失(△)	9,073,848	220,149	△513,444	8,780,553	164,422	8,944,975

(注) 1. 事業の区分は商品、サービス等の類似性を考慮してP S・フィールド、ゲーム・フィールド、その他フィールドの区分になっております。

2. 各区分の主な内容

- (1) P S・フィールド・・・遊技機の仕入販売、企画、開発かつこれに付帯する関連業務等
- (2) ゲーム・フィールド・・・ゲームソフト等パッケージソフトの企画開発、販売等
- (3) その他フィールド・・・スポーツマネジメント他

3. 全ての営業費用は、各セグメントに配分されているため、配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前期 (平成19年3月期)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前期 (平成19年3月期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[添付資料]

6. (要約) 四半期財務諸表
 (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別		前第1四半期		当第1四半期		(参考)	
			(平成18年6月30日現在)		(平成19年6月30日現在)		平成19年3月期	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資 産 の 部)				%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金		12,030,858			17,917,022		14,083,737	
2. 受取手形		13,827,069			3,302,154		3,346,712	
3. 売掛金		8,547,081			15,153,239		13,152,225	
4. 有価証券		199,915			—		—	
5. たな卸資産		482,803			10,127,407		358,410	
6. 商品化権前渡金		3,305,204			—		—	
7. 繰延税金資産		463,003			—		—	
8. その他		1,056,409			5,440,779		5,362,172	
9. 貸倒引当金		△ 141,000			△ 50,200		△ 50,200	
流動資産合計		39,771,346	68.8		51,890,403	70.1	36,253,059	63.0
II 固定資産								
1. 有形固定資産		3,918,630	6.7		6,038,556	8.2	5,245,492	9.1
2. 無形固定資産		1,034,735	1.8		2,779,003	3.7	2,576,733	4.5
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券		2,842,744			2,086,560		2,351,362	
(2) 関係会社株式		7,330,550			7,876,550		7,876,550	
(3) その他		3,575,740			3,875,192		3,745,827	
(4) 貸倒引当金		△ 611,571			△ 524,411		△ 539,704	
(5) 投資損失引当金		△ 20,000			—		—	
投資その他の資産合計		13,117,464	22.7		13,313,891	18.0	13,434,034	23.4
固定資産合計		18,070,829	31.2		22,131,451	29.9	21,256,261	37.0
資産合計		57,842,175	100.0		74,021,854	100.0	57,509,320	100.0

(単位：千円)

科 目	期 別		前第1四半期		当第1四半期		(参考)	
			(平成18年6月30日現在)		(平成19年6月30日現在)		平成19年3月期	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)				%		%		%
I 流動負債								
1. 買掛金		10,854,903			25,174,108		8,199,531	
2. 賞与引当金		44,500			36,800		25,000	
3. 役員賞与引当金		—			98,000		98,000	
3. その他		3,885,090			3,313,637		4,435,515	
流動負債合計		14,784,494	25.6		28,622,545	38.7	12,758,046	22.2
II 固定負債								
1. 退職給付引当金		151,665			183,633		173,879	
2. 預り保証金		2,515,792			2,510,125		2,575,731	
固定負債合計		2,667,458	4.6		2,693,759	3.6	2,749,611	4.8
負債合計		17,451,952	30.2		31,316,305	42.3	15,507,658	27.0
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金		7,948,036	13.7		7,948,036	10.7	7,948,036	13.8
2. 資本剰余金								
(1) 資本準備金		7,994,953			7,994,953		7,994,953	
資本剰余金合計		7,994,953	13.8		7,994,953	10.8	7,994,953	13.9
3. 利益剰余金								
(1) 利益準備金		9,580			9,580		9,580	
(2) その他利益剰余金								
別途積立金		20,000,000			20,000,000		20,000,000	
繰越利益剰余金		3,703,928			6,538,156		5,834,270	
利益剰余金合計		23,713,508	41.0		26,547,736	35.9	25,843,850	44.9
株主資本合計		39,656,497	68.5		42,490,726	57.4	41,786,839	72.6
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金		733,725			214,822		214,822	
評価・換算差額等合計		733,725	1.3		214,822	0.3	214,822	0.4
純資産合計		40,390,223	69.8		42,705,548	57.7	42,001,662	73.0
負債純資産合計		57,842,175	100.0		74,021,854	100.0	57,509,320	100.0

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		前第1四半期		当第1四半期		(参考) 平成19年3月期	
			(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比		
I 売上高	22,756,001	100.0	21,094,322	100.0	71,314,702	100.0		
II 売上原価	16,035,199	70.5	15,336,356	72.7	46,164,048	64.7		
売上総利益	6,720,801	29.5	5,757,966	27.3	25,150,654	35.3		
III 販売費及び一般管理費	3,441,548	15.1	3,226,881	15.3	16,150,772	22.7		
営業利益	3,279,252	14.4	2,531,085	12.0	8,999,882	12.6		
IV 営業外収益	256,895	1.1	104,041	0.5	407,792	0.6		
V 営業外費用	189	0.0	21,099	0.1	13,990	0.0		
経常利益	3,535,958	15.5	2,614,027	12.4	9,393,684	13.2		
VI 特別利益	905	0.0	1,757	0.0	89,824	0.1		
VII 特別損失	—	—	55,553	0.3	749,299	1.1		
税引前四半期(当期)純利益	3,536,864	15.5	2,560,231	12.1	8,734,209	12.2		
法人税、住民税及び事業税	1,588,052	7.0	1,162,345	5.5	3,961,054	5.5		
四半期(当期)純利益	1,948,812	8.5	1,397,886	6.6	4,773,154	6.7		